



# 中日クラウンズの名物おじさん

磯村守和さん もりかず (70歳)

名古屋ゴルフ倶楽部和合コースで、毎年4月末の木曜から5月初めの日曜までの4日間開催されている中日クラウンズ。昭和35年の第1回大会から続く伝統ある男子プロゴルフトーナメントです。

そのクラウンズに、毎年、選手紹介で会場を盛り上げている男性がいるのをご存じですか。

今回は、中日クラウンズの名物おじさん、磯村守和さんに話を聞いてきました。

## 勇気を出してひと声

クラウンズでは、試合をサポートするボランティアを毎年募集しています。業務はスコアラ、キャリングボード、ホールマーシャル、練習場係。選手に同伴し、スコアを大会本部とキャリングボードに報告するのがスコアラ。スコアを記入した掲示板を持ち歩き、観客にスコアを知らせるのがキャリングボード。観客整理を行うのがホールマーシャルで、選手練習を補助するのが練習場係です。

和合在住の磯村さんがボランティアを始めたのは、平成13年の第42回大会。大会を主催するCBCテレビが、地元の和合地区の住民からボランティアを募ったのがきっかけでした。

「母から『地域のためになることは一生懸命やいなさ』と言われて育ったので、

迷うことなく引き受けました」

1年目と2年目はスコアラ、3年目は1番のホールマーシャルを任せられます。

「2年目のことです。観客整理をしていると、観客が『拍手がなくて寂しいね』と話しているのを耳にしたんです。何とかしなきゃとすぐに思いました」

居ても立ってもいられなくなった磯村さん。勇気を出して叫びます。

「選手が入場します。皆さま、あたたかい拍手でお迎えください」

地区の益踊りの司会や、消防団で指揮を務めたことがあり、声を張り上げることは自信がありました。観客は驚いた顔で一斉に磯村さんに視線を向けましたが、どこからか拍手が起き、皆つられて拍手。会場は、瞬く間に盛り上がりを見せました。

以来、1番で選手紹介を任せられることになり、今年でボランティア16年目。

「主催者には、初めは『静かにしてください』と怒られたんですが、今では『今年もお願いします』と頼まれるんですよ。だって盛り上がるんですから」

## クラウンズの魅力

磯村さんはクラウンズの魅力を「選手、観客、運営のみんなが盛り上がっていること」と話します。



「ゴルフは『紳士のスポーツ』と呼ばれるだけあって、マナーを重視する。でも、まずはみんなが楽しまなきゃね」

今年71歳を迎えますが「引退はまだまだ先ですよ」とにっこり。

「体が動く限りやります。選手も観客も私を覚えてくれているんですから。選手は『今日もご苦労さま』と言ってくれれば、観客は『おじさんに会いに来年も来るね』と声を掛けてくれる。こんなにつれいことはいいですよ」

開催中の4日間、毎日朝早くから声を張り上げて会場を盛り上げる磯村さん。皆さんも名物おじさんに会いにクラウンズに行きませんか。

## 第57回中日クラウンズ

▼とき 4月28日(木)～30日(土)、5月1日(日)

▼チケット 前売り通し券(1万円)を発売中。当日券(1日限り)もあり。

※中学生以下は無料

▼問合せ CBCテレビクラウンズ事務局  
052(259)2136